西洋文学テーマ・モチーフ事典

ホルスト・S・デムリヒ／イングリッド・G・デムリヒ 著 ❖川東雅樹（秋田大学元教授）訳

光、狂気、偶然、黙示録、ファム・ファタール――
古来よりいかなる主題が物語を駆動し、
その伝統はいかに新しく変奏されてきたのか。
西洋文学に現れる文学テーマ・モチーフの機能、特徴、歴史的変遷を
詳説する、文学研究と創作のための必携大事典。

1800名の作家、
3500作の文学作品を例示し、
160余のテーマ・モチーフを詳説。

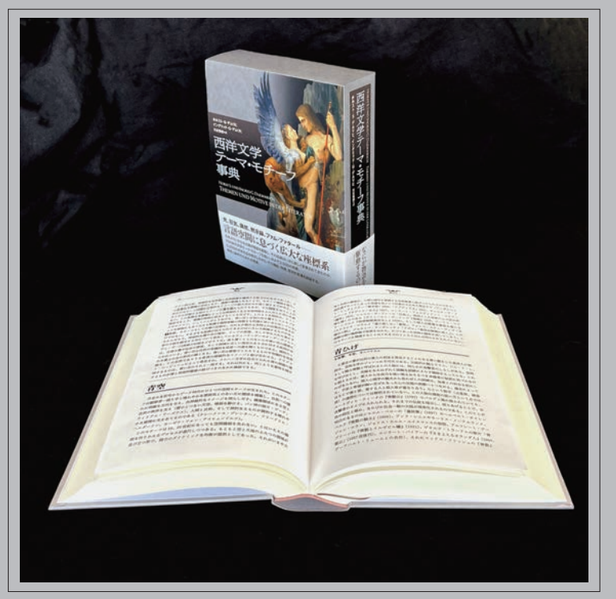
国書刊行会

本書の特徴

- 既存のシンボル事典や文学事典とは異なる切り口で、西洋文学におけるテーマおよびモチーフを厳選・網羅。テーマ・モチーフの概念的説明にとどまらず、それらが西洋文学においていかなる役割を果たし、歴史的にいかに変遷してきたかを比較文学の観点から詳説する、全く新しい文学事典。
- それぞれのテーマ・モチーフの説明において、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・スペイン語あるいはラテン語の文学を中心に、ロシアや北欧、ラテンアメリカ、古代ギリシャ・ローマなどの地域も含む、1800名の作家、3500作の文学作品に言及。関連する文学作品に触れるのみならず、筋書きやその解釈に踏み込みながらテーマ・モチーフについて詳解。
- 執筆者は、比較文学研究者であるホルスト・S・デムリヒ（ペンシルバニア大学）およびイングリッド・G・デムリヒ（ドレクセル大学）。世界各国で翻訳され、大学の授業において広く利用されている。

本書の利用方法

- 文学のみならず映画や漫画など、表象文化全般の理解・分析のために必携。各記事に対して付された参考文献をもとに、さらに世界的に詳細な研究状況を知ることができる。
- ある文学テーマ・モチーフに関連する新旧の作品に手を伸ばすための詳細なブックガイドとしても非常に有用。
- 小説・脚本などの創作者が、あるテーマ・モチーフに関する作品を制作するにあたって、関連する先行作品を参照・調査するための唯一の事典。



『西洋文学テーマ・モチーフ事典』

A5判・上製函入・総680頁
定価：本体12,000円+税

ISBN978-4-336-07476-8

2024年6月刊行

国書刊行会
〒174-0056　東京都板橋区志村1-13-15
Tel.03-5971-7421　Fax.03-5970-7427
https://www.kokusho.co.jp
e-mail:info@kokusho.co.jp

帳合・書店印

注文書
この注文書で最寄りの書店へお申し込みください。

国書刊行会
西洋文学テーマ・モチーフ事典　冊
ホルスト・S・デムリヒ&イングリッド・G・デムリヒ 著／川東雅樹 訳　を申し込みます。

お名前

ご住所

電話
FAX

❖「青い花」「青空」「海」「霧」といった象徴的な自然物から、「愛」「悪」といった抽象観念、「仇討ち」「賭け」といった物語内の行為、「芸術家」「実業家」「父―息子」といった職業・役割や人間関係、「アンティゴネー」「オイディプス」「ジャンヌ・ダルク」のような神話上・歴史上の人物まで、多岐にわたるテーマ・モチーフを見出し語として採用し、多岐にわたる作品を紹介してそれらを解説。

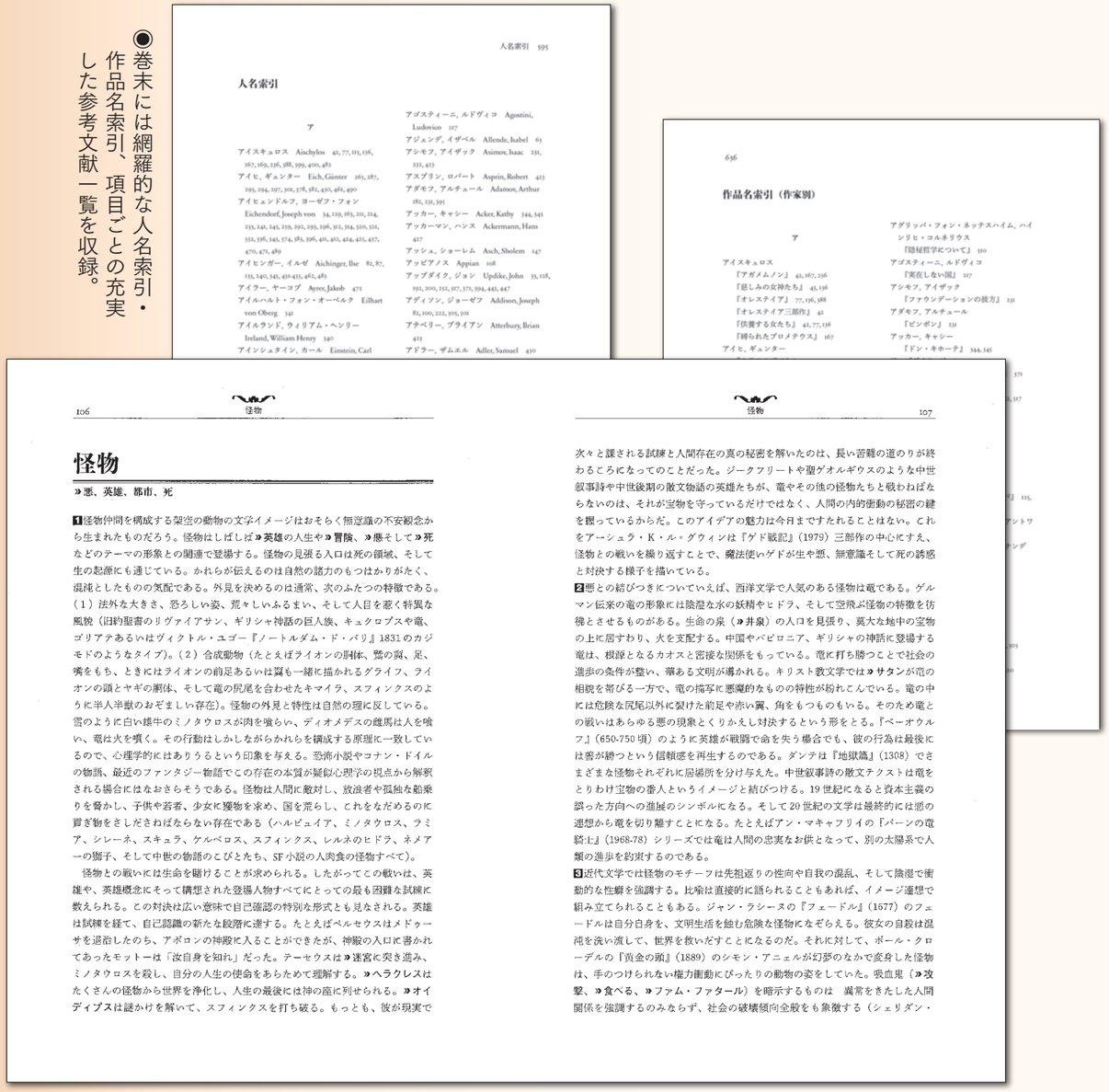
序文より（抜粋）

テーマとモチーフは文学作品の基礎である。その位置や配置、相関関係、反復と変奏が広大な座標系を作りあげる。［……］国も違えば、活動した時代も大きく異なる作家たちが、テーマとなった典型的人物やその人物たちの成長段階、かれらの人生の節目に割りあてられた出来事、そしてモチーフやモチーフセットをとりあげ、掘り下げ、新たに組み上げてきた。［……］その過程で、作家は意識的にも無意識的にも、社会習慣となった伝達方法や思考様式を受けつぎ、文学の伝統との対話を構築する。

❖著者略歴

ホルスト・S・デムリヒ
1930年～2021年。ドイツ生まれ。ドイツ文学・比較文学研究者。シカゴ大学でドイツ文学の博士号を得て、ウェイン州立大学、ペンシルバニア大学で比較文学・ドイツ文学を講じた。妻のイングリッドと共に主題研究で多くの論文・著書を執筆し、なかでも『西洋文学テーマ・モチーフ事典』は世界中で読まれている。

イングリッド・G・デムリヒ
1936年～2018年。米国生まれ。テーマ研究・比較文学研究者。ウェイン州立大学でフランス文学の博士号を取得し、ドレクセル大学で教鞭をとった。夫のホルストと同様、主題研究で多くの論文ならびに著書を共同執筆した。



●【ページ見本】45% 縮小

◉巻末には網羅的な人名索引・作品名索引、項目ごとの充実した参考文献一覧を収録。

❖収録項目

青い花／青空／青ひげ／赤い宝石／悪／アーサー王／仇討ち（血縁者による）／悪漢／アブラハム／アベラールとエロイーズ／アルケスティス／アルゴー船の英雄たち／アンティゴネー／アンニュイ／アンフィトリオン／家／イフィゲーニエ／隠者／海／憂い／英雄／エレクトラ／エロス／円環、円運動／エンブレム／老い／オイディプス／オデュッセウス（ウリクセス、ユリシーズ）／折り合い／オルペウス／改革（個人と社会）／怪物／カエサル／鏡／賭け／影／家族／カーニヴァル／鐘／狩り／姦通／帰郷／騎士道冒険／境界／狂気／兄弟の争い／霧／キリスト／キルケー／近親相姦／金銭（黄金）／金羊毛／空間／偶然／雲／芸術家／幻覚／権力／高貴な野生人／高級遊女（宮廷遊女）／攻撃／心（心臓）／子殺し／乞食―物乞い／孤独／子どもの予期せぬ病気や死／サタン（ルシファー、メフィストフェレス）／さまよえるオランダ人／死／色彩／自己実現／自殺／実業家／自動人形（マリオネット）／島／ジャンヌ・ダルク／絨毯／女性（母―娘、偶像―妖婦）／城／深淵／人物像／成熟／井泉／聖杯／制約―自由／世代間の争い／疎外／戦争／太陽／対話―沈黙／ダヴィデ／他者／黄昏／旅路（旅、人生行路）／たぶらかし／食べる（カニバリスム）／探索／ダンディー／断念／父―息子／月／手／庭園／デカダンス／道化／動物界／都市／トマス・ベケット／トリスタンとイゾルデ／ドン・キホーテ／ドン・ファン／ナポレオン／ナルシシズム／廃墟／犯罪（物語としての）／火／光／ピグマリオン／病気／ファウストス／ファム・ファタール／不安／風景／フォルトゥーナ（運命の女神）／復讐／不条理／船―難破・港／プロメテウス／分身（自我の分裂）／ヘラクレス／変装／遍歴者（遍歴）／冒険／豊穣―不毛／放蕩息子／星／ホロコースト／魔術師マーリン／窓／真昼／道／無／目／迷宮／名誉／メーディア／メタモルフォーゼ／盲目／黙示録／山／友情／夕べ／ユダヤ人／ユートピア／夢／夜明け／ヨブ／ヨナ／夜（闇）／楽園／螺旋／両性具有／錬金術／錬金術師／労働／労働者／ロビンソン（無人島生活）